



彼は、志半ばで死んでしまった。

アルくん♡

ネブラ…♡

これがボクを蘇生したチンボ♡

Presented by: ダイナミック棺桶

男給養師と少年騎士

の蘇生が始まる奇妙な関係

このチンボと一生添い遂げ




ボクはこの国を
変えたいんだ

貧しい人達が
皆笑顔で暮らせる国に



そのためにボクは上を目指す
まずは騎士団長になる事が目標だ

へえ…
すごいなあ…



アルくんなら
きっとなれるよ
応援してる

ありがとう
頑張るよ!

その後
彼は志半ばで…

死んでしまった



男公家と女騎士と 少年騎士

の蘇生が始まる奇妙な関係

僕はとある村の
ヒーラー
治癒師一族の家に
生まれた

しかし自分には
魔術の才能が無く
学校も単位ギリギリで卒業

実家に不満は無かったが
ソーマサラー
魔術師になりたかったため
都の魔術学校に通った

ソーマサラー
魔術師としての就職は厳しく、
親戚の紹介で宮廷騎士団に
ヒーラー
治癒師として入団させてもらった

君が
ネブラシスカかい？

ボクは
アルフォンソ

彼は僕と同期の騎士

史上最年少で
騎士団に入団したため
皆の注目の的だった

え…

あ…
はい…

僕も悪い意味で
注目の的だった

ヒーラー
治療師は基本女性職で
騎士団の治療師部隊
唯一の男だからだ

…何か御用ですか？

どこかに行ってくれないかな…
放っておいて欲しい

来週から地方遠征の任があるのだけど
良ければサポート治療師として
同行してくれないだろうか？

えっ

君さえ良ければ…
力を貸して欲しい

ドキッ

誰かに
必要とされるのが初めてで
嬉しさのあまり快諾した

これが彼との
出会いだった

彼は騎士の名に恥じぬ
高潔な精神と優しさを
兼ね備えた人間だった

僕的能力を買ってくれている
訳では無かったが
それでも構わなかった

ボクは女性が苦手だね…
君が居てくれて本当に
助かるよ

僕のような出来損ないにも
居場所があるのだと
彼は教えてくれた

僕のような出来損ないにも
親身になって接してくれる

だから本当に
彼の夢を応援していた…
それなのに――





「彼の者に祝福を！」



速度^ラ付^ピ加^ド!!

劍技

デ・レ・ペンテ!!







しっかりしてー!
アルくん!

リストーロ
回復魔法!
リストーロ
回復魔法!

リストーロ
回復魔法!

ダメだ…

もう
死んでる…

治癒術は
重体や瀕死の状態なら
効果はあるが、

君は国を
変えるんだろう?
こんな所で死んじゃ…
ダメだよ…

そんな…
嘘だよね…?

死んだ人間を
生き返らせる事は
出来ない

僕のせいだ…
僕がもっと上手く
サポートできていれば…

僕が魔術も使えていれば…

ごめんね
アルくん…
ごめん…

僕が
出来損ないだから…

ごめんなさい…
アルくん…

僕のせいで
アルくんが死んだ!!

ごめん…



あるじゃないか…
生き返らせる方法

僕にもできる


待ってて…
必ず君を蘇生してみせる…

あの《禁術》を
使えば

わっしょ…







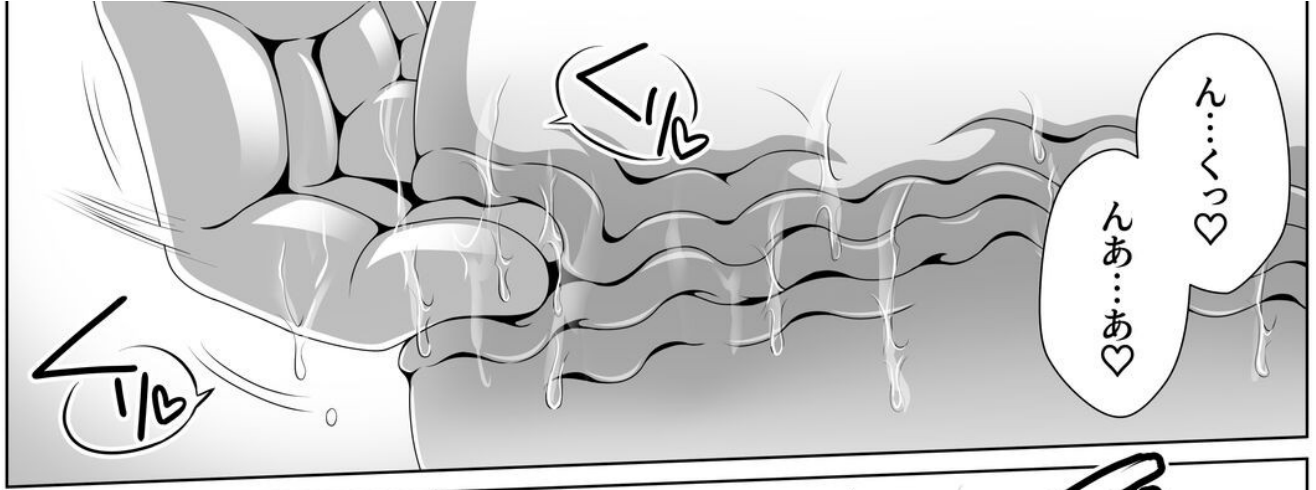
ごめんね!
僕のせいで...
ごめんなさい!



大丈夫
君のせいじゃないよ
こうして無事なんだから!

.....
うん

.....





もっと…
太くて長くて…

質量があるもので
掻き回したい…

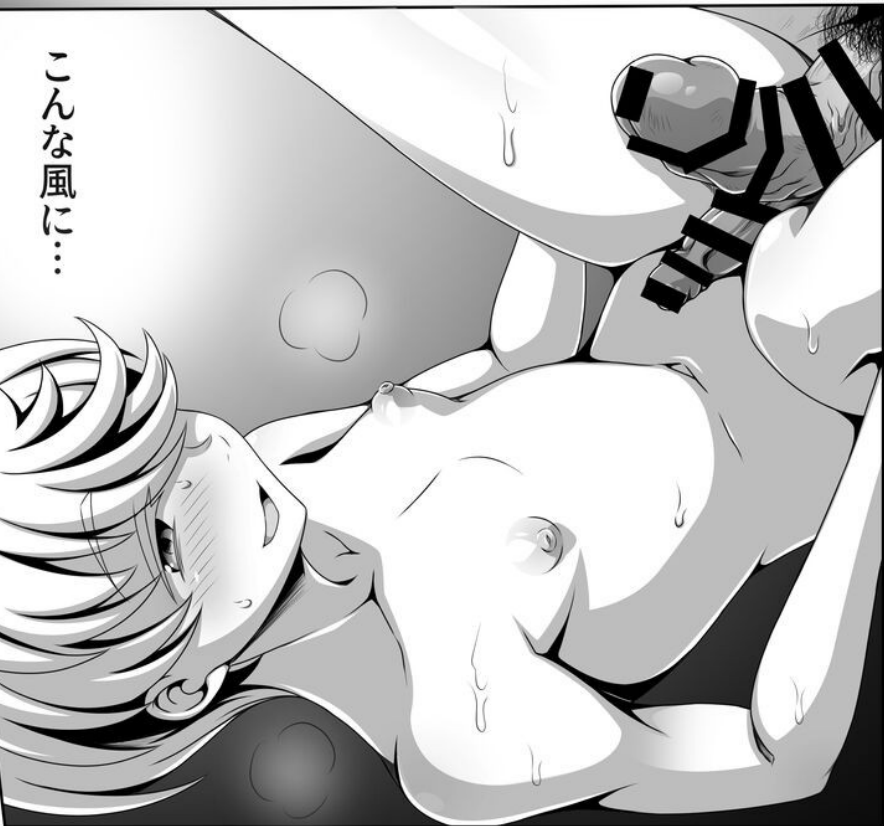


そう…
例えば…



カキヤ

!



こんな風に…



定期的に僕の精液を注がないと
君は「また」死んでしまう

君の体がおかしくなったのは
僕のせいだ

ごめん

ごめんなさい…

ごめんね
アルくん…

あの日も

僕は

君を

僕の実家は
ヒーラー
治療師の一族かつ、
ネクロマンサー
死霊使いの末裔でもある

今は法で死者蘇生が禁じられているが、
実家には蘇生術の本が沢山残っており
子供の頃に読み漁っていた

蘇生術の手法は
至ってシンプルで
常軌を逸している

肉体の修復には
術者の



魂は術者の
を
繋ぎ止める





ごめん

ごめん

ごめんなさい

『汝に生の…
祝福を…』

ごめん

アルくん

ごめんな

ごめんな
ごめんな

**僕の選択は
正しかったのだろうか？**

ごめんなさい





今日は宿が
空いててよかったね



ベッドは一つしか
無かったけど…

野宿より
マシだろう？

そろそろ寝ようか
おやすみ



ぱち



ネブラ…

起きてるかい？



ネブラ…



何故だろう…
最近彼が物凄く
魅力的に感じる…

確かに
人見知りなだけで
とても優しいところは
魅力的だけれど、
そういうのでは無くて…

性的に
魅力的過ぎる…!!

あゝ

あゝ♡

はっ♡

衣類越しても分かる…
彼の逞しい陰茎…

これで思いっきり
肛門をかき回されたい♡

「ッボクは
どうしてしまったんだ…」

こんなの変態以外の
何でもない…

…アルくん



えっ
起きて…!?

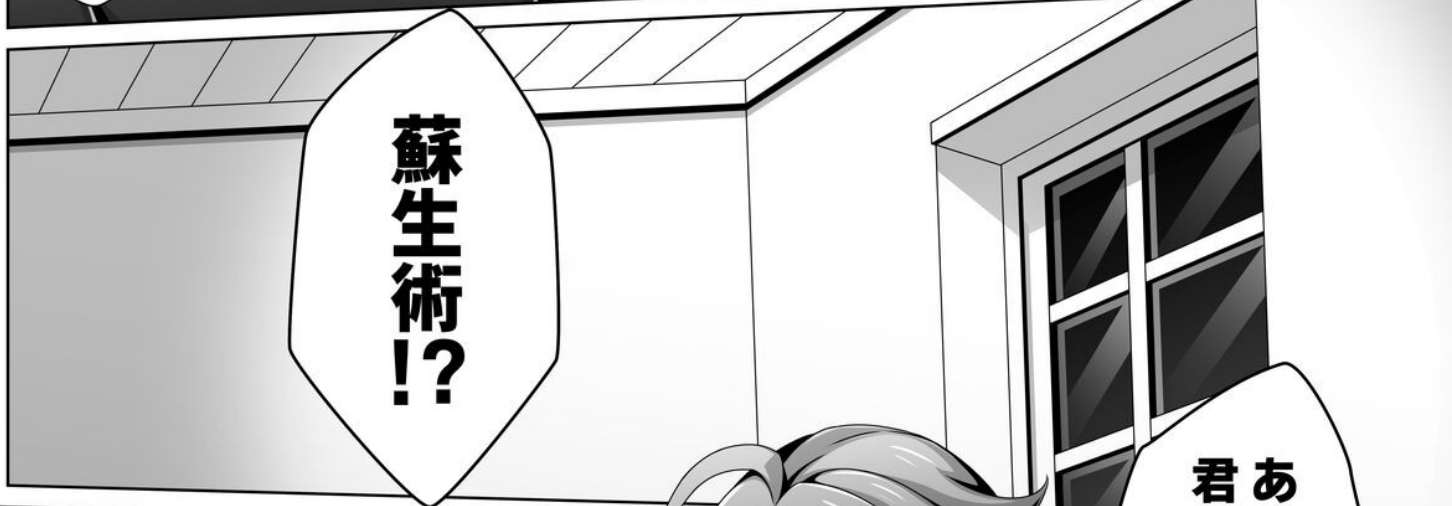
本当の事…!?



つらい思いをやらせて
ごめん…

ドキドキ

そろそろ
本当の事…
言わないとね…



蘇生術!?



あの禁術の？
君は使えるのか？

一応僕は
ネクロマンサー
死霊使い一族の
末裔だから…

今は禁術だから
バレたら処刑されるね
ハハハ…

何故そんな…
ボクを蘇生だなんて…

君を死なせたく
なかったんだ

君が志半ばで…
僕のサポートが至らなかったせいで
死んでしまったなんて…

耐えられなかったんだ…
君に夢を叶えて欲しかった…

…君は冗談を言う
奴じゃない

という事は
ボクが死んだと言うのは
本当なんだね…

うん…

それに厳密に言うとならば
これは完全な蘇生術
じゃない

僕の命とリンクさせることで
君はこの世に留まっているから…
僕が死ねば君も死ぬ

そしてリンクするため
必要な物は術者の精液

つまり今の君は定期的に
僕と性交しなければならぬ

そのまま放っておいたら
死んでしまうからね

なるほど…
ボクの体は君の精液を
求めていたのか

ハニキ
ななてけい
ななてけい

…うん

定期的に君を犯したよ…
催眠術で眠らせてたから
知らないだろうけど

…アルくん

ぎ

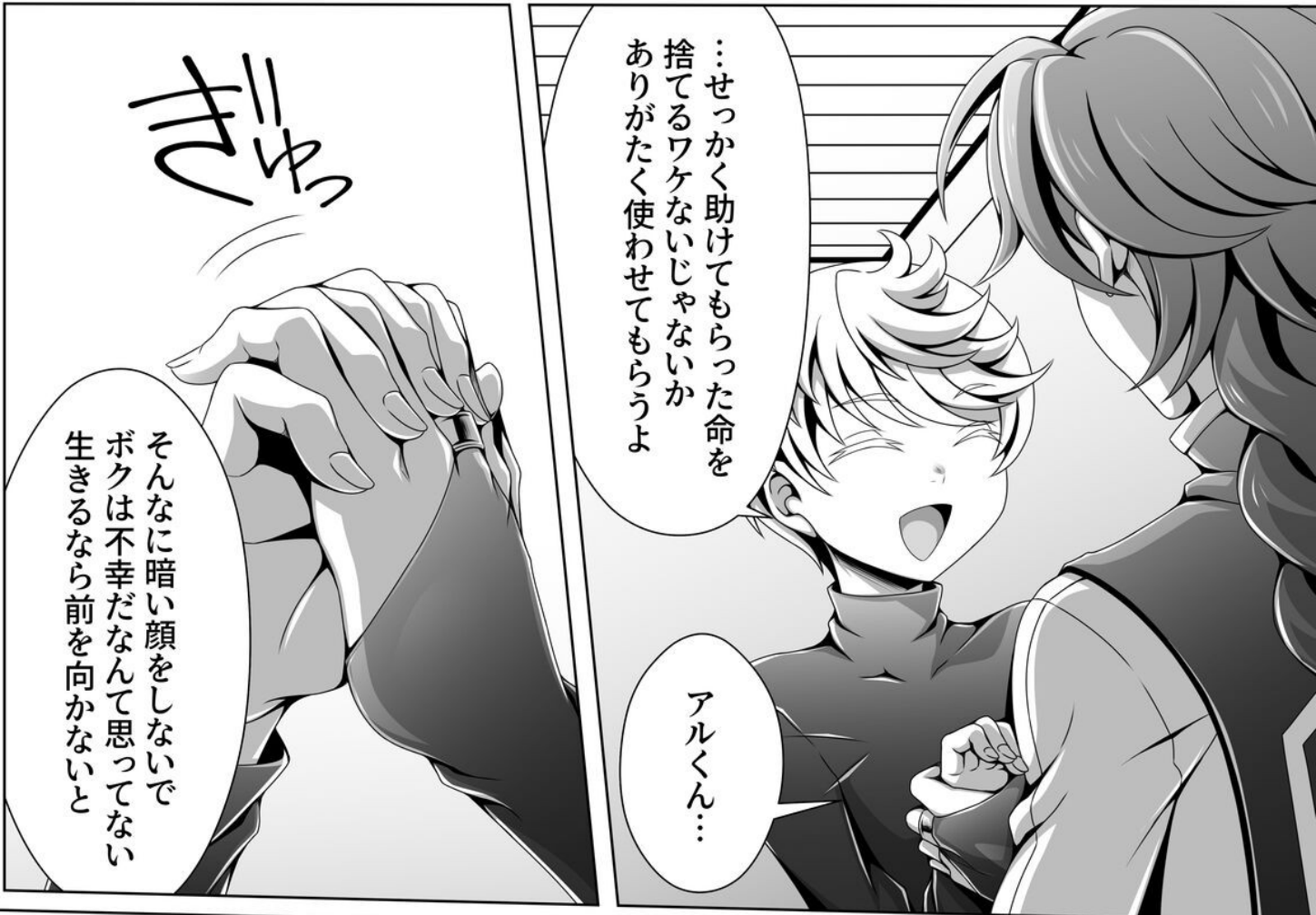
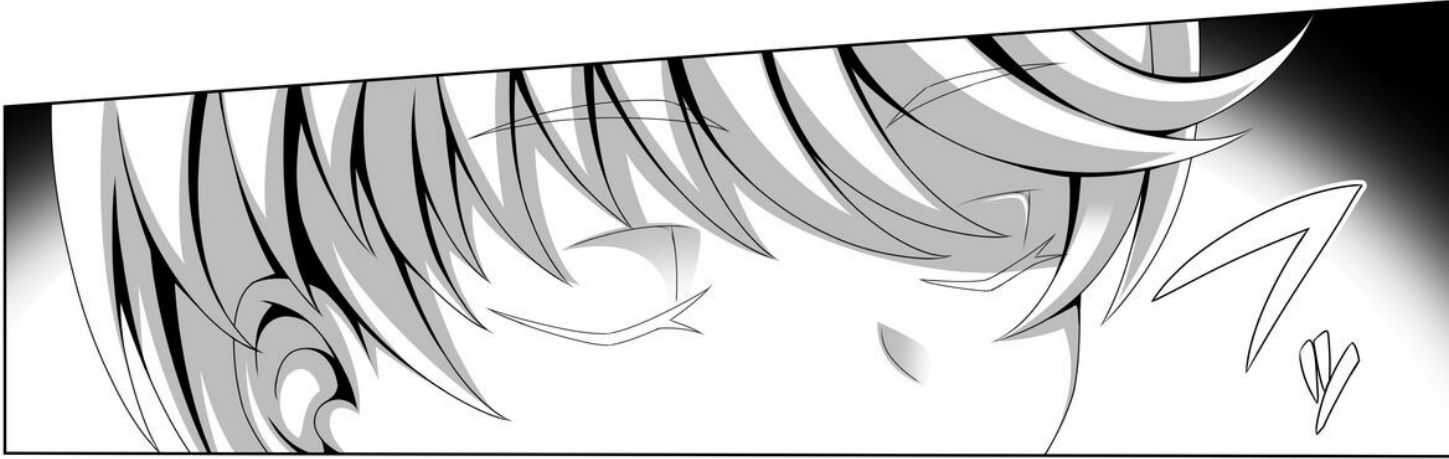
やっ

君には
僕を殺す権利がある

一生僕の精液供給で生き続けるか
僕を殺して縁を切って死ぬか…

どちらを選んでも
地獄だろうけど…
君の意思を尊重したい





…せっかく助けてもらった命を
捨てるワケないじゃないか
ありがたく使わせてもらおうよ

アルくん…

そんなに暗い顔をしないで
ボクは不幸だなんて思っていない
生きるなら前を向かないと

…本当にそれでいいの？
君は…

ずっと我慢してて
気がおかしく
なりそうなんだ

「ア…」



そろそろ摂取
させてくれないか

君の精液を

サッ



ハイ...

あ...



立派な物を持っているね

は、
恥ずかしいデス…

今更何を
恥ずかしがる事が
あるんだい？

ワスワス



んっ♡



しかし凄いな…
こんなに大きな物が
肛門の中に入るだなんて

これがボクを
蘇生したチンポ♡

こんなに
遅しいのに…

ひああっ♡

アルくんっ♡

情けない声を出して…
可愛いじゃないか♡

このチンポと
一生添い遂げるのか…

これが
ボクのご主人様…

ああ…
どうしようもなく
胸が高鳴る…♡

術のせいかな？
このチンポが愛おしくて
仕方が無い♡

んあっ♡

早くボクに
精液を恵んでくれ♡

はぁ♡
はぁ♡
はぁ♡

頼むッ♡

いつもみたいに
犯してくれないか？

は、は、
はひ…♡

かみあ♡
沢山出たね♡

ネブラ、
そろそろ…

アルくんっ!!

アッ

あっ♡これ…知ってるっ♡

このチンポに抗えないっ♡
やはり彼がボクの…!!

ごめん…!!
もう酷い事はしたくないのに…!!
ごめんなさいっ…!!

ボクが生きたためには
こうするしかないんだよ?

こんなに気持ち良いんだから
楽しまないと損だよ♡

んめめめっ♡

ニ
ニ
ニ
ニ
ニ

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

みち♡

それに…「ごめん」じゃなくて
「好き」って言って欲しいな♡
性交は愛があった方が良くいだろう？

う、うん…
わかった…

好き♡

好き♡

好き♡

アルくん
好き♡♡

大好き♡

アルくん
大好き♡♡

アルくん♡♡

キゅ♡

ボクもだよネブラ
愛してる♡

両思いだね♡

♡♡♡♡♡

あっ♡激しいっ♡
やっと本気で来たね♡

だ、だって、
アルくん小柄だから
加減しないと…

加減なんて必要ないよ♡
君よりボクの方が
ずっと強いからね♡

そ、それは
そうだけとお♡



ネブラ♡好き♡
好き♡ネブラっ♡

僕もアルくんが
好き♡大好きっ♡

注いでくれっ♡
君の精液っ♡

ボクの命をっ♡

おは♡

おは♡

おは♡

おは♡

おは♡







ん…♡

ん…♡

ヒッヒッ♡
ハッハッ♡

ヒッヒッ♡
ハッハッ♡



アルくん♡


ネブラ…♡

♡



ボクはまだ夢を諦めてはいない

皆が幸せに暮らせる国に変えたいんだ



そのためにボクは上を目指す
だから君のサポートが必要不可欠だ

アルくん…



これは
お願いじゃない
命令だ

ボクを蘇生した
罪を贖うんだ



…もちろん

僕の一生をかけて
君をサポートするよ



約束だ

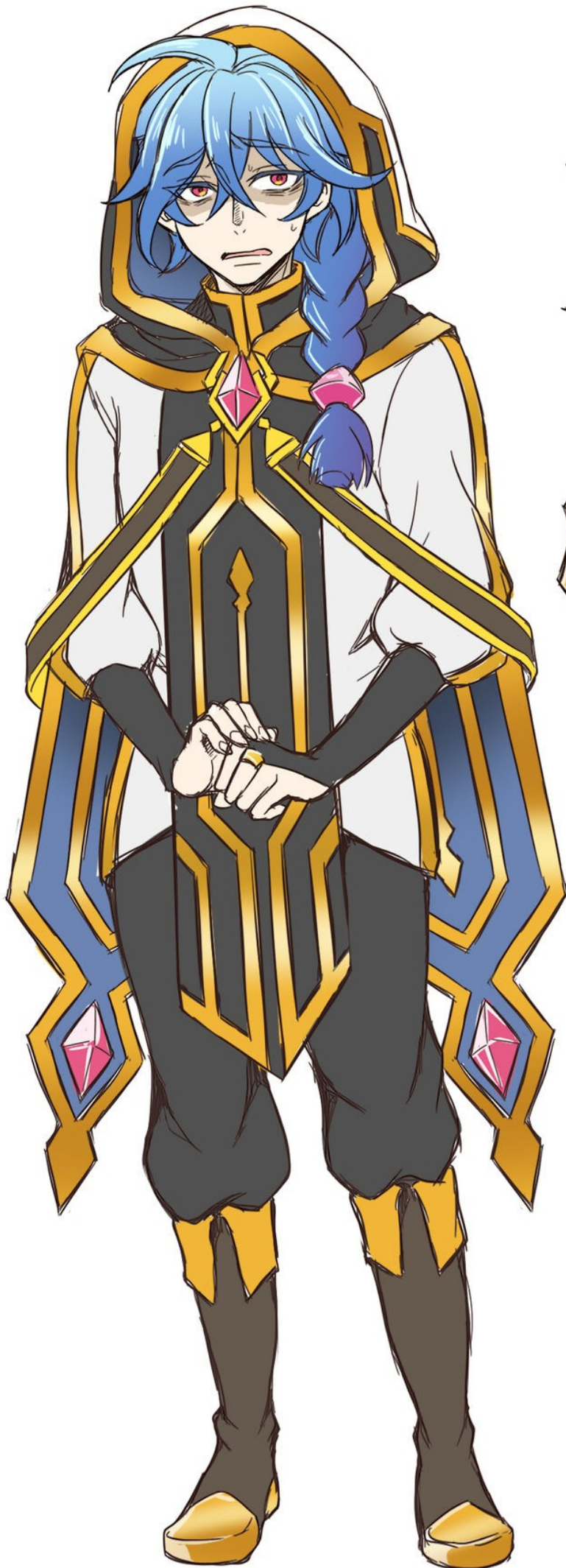
【END】

男の盗賊団と少年騎士

の蘇生から始まる奇妙な関係

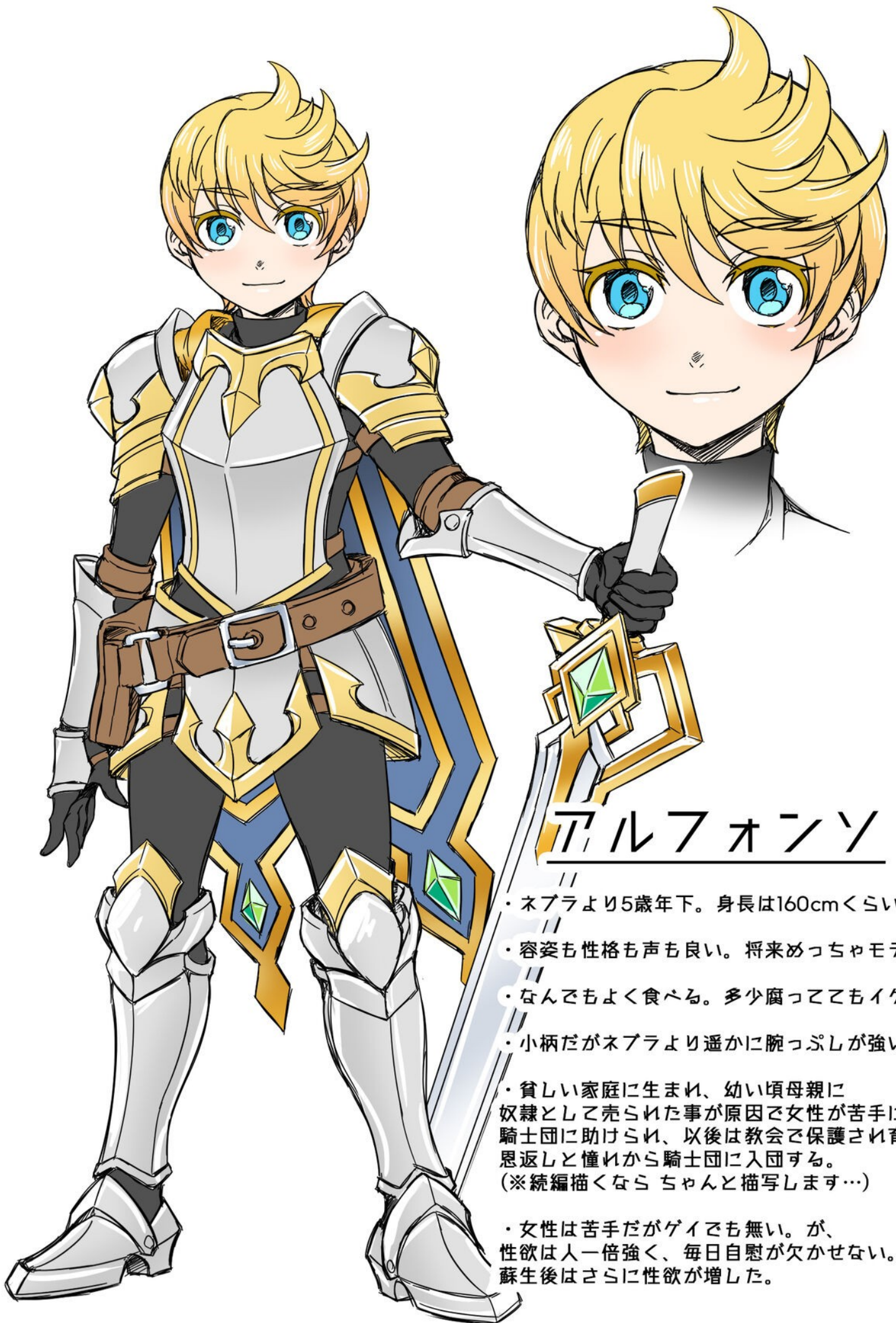


おまけ + ゲスト原稿



ネブラシスカ

- ・成人済。身長は176cmくらい。
- ・人見知り激しく、声が小さい。
- ・普段表に出さないだけで、自分の意思を強く持っており内弁慶気味。
- ・都に来てからぼっち生活をしているが、田舎には多少友達がいる。
- ・甘い物と乳製品が好き。
- ・魔術の才能は無いが、治癒師としての実力はかなり高い。
- ・性欲はあまり強くない…
というか友達もロクにいないため恋愛は完全に諦めているので、誰かに恋愛感情や劣情を抱いた事が無い。溜まった時に義務的に処理する程度。
- ・アル蘇生の際は自身に催淫魔法をかけて無理矢理勃起させてヤツた。



アルフォンソ

- //
・ネブラより5歳年下。身長は160cmくらい。
//
- ・容姿も性格も声も良い。将来めっちゃモテる。
//
- ・なんでもよく食べる。多少腐っててもイケる。
//
- ・小柄だがネブラより遥かに腕っぷしが強い。

- ・貧しい家庭に生まれ、幼い頃母親に
奴隷として売られた事が原因で女性が苦手な。
騎士団に助けられ、以後は教会で保護され育つ。
恩返しと憧れから騎士団に入団する。
(※続編描くならちゃんと描写します…)

- ・女性は苦手だがゲイでも無い。が、
性欲は人一倍強く、毎日自慰が欠かせない。
蘇生後はさらに性欲が増した。

あ、アイツだよ
男の治癒師！
あのフード被ってる奴！

え、マジか
アイツが噂の…

キクッ

治癒部隊唯一の男治癒師く〜んW
職場がハーレムで羨ましいいな〜W

イラッ

うるせーッ！
僕だって本当は魔導師志望だわ！

攻撃魔法が壊滅的にヘタクソだから
仕方なく治癒師やってんだよ！

なんて
言えない…

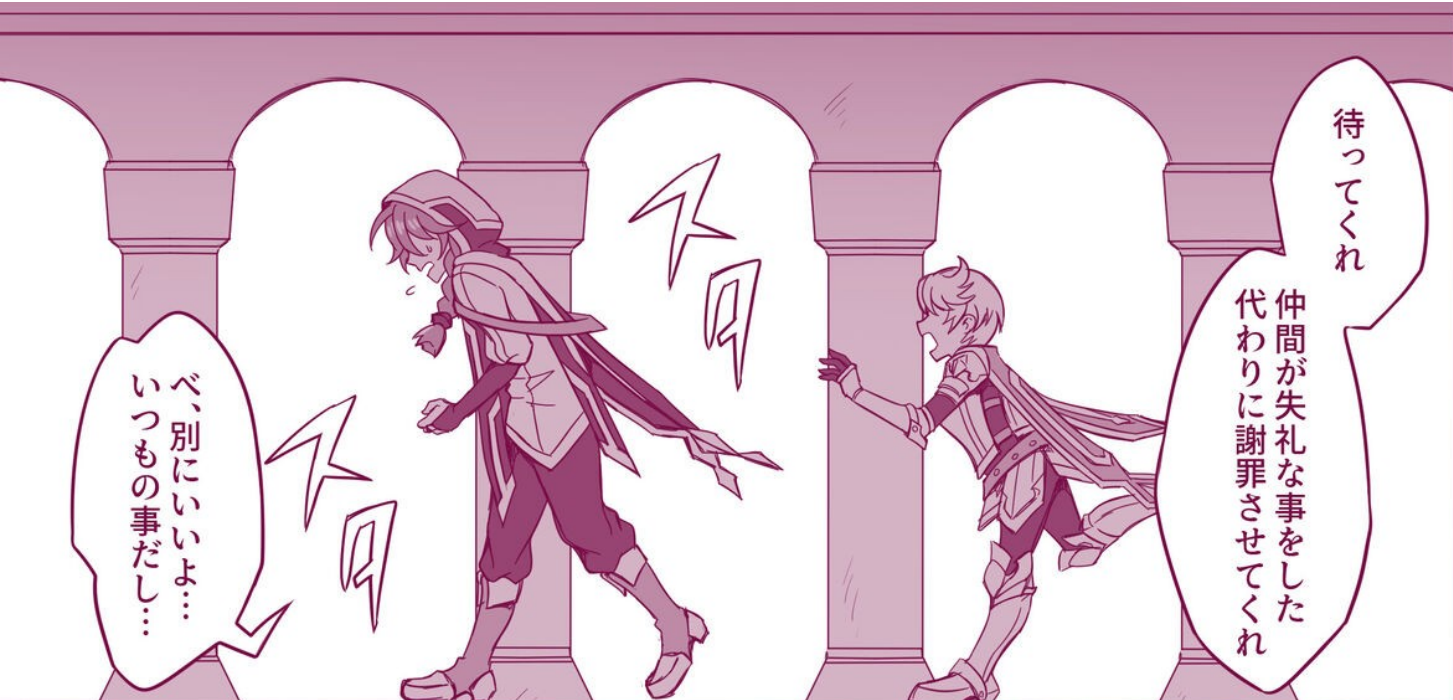
ダサすぎる

お〜い
無視すんなって

止めないか
君達！

男でも彼は
立派な治癒師だ！

我々騎士のサポートに
尽力してくれているのに
その言い草は何だ!?
失礼だろう！



べ、別にいいよ...
いつもの事だし...

待ってくれ
仲間が失礼な事をした
代わりに謝罪させてくれ



それでも誰かに
必要とされるのは...

そんな...
あ、話が変わるけど
君にお願いがあった...

え...?



次の遠征任務にサポートとして
君に同行してほしいんだ

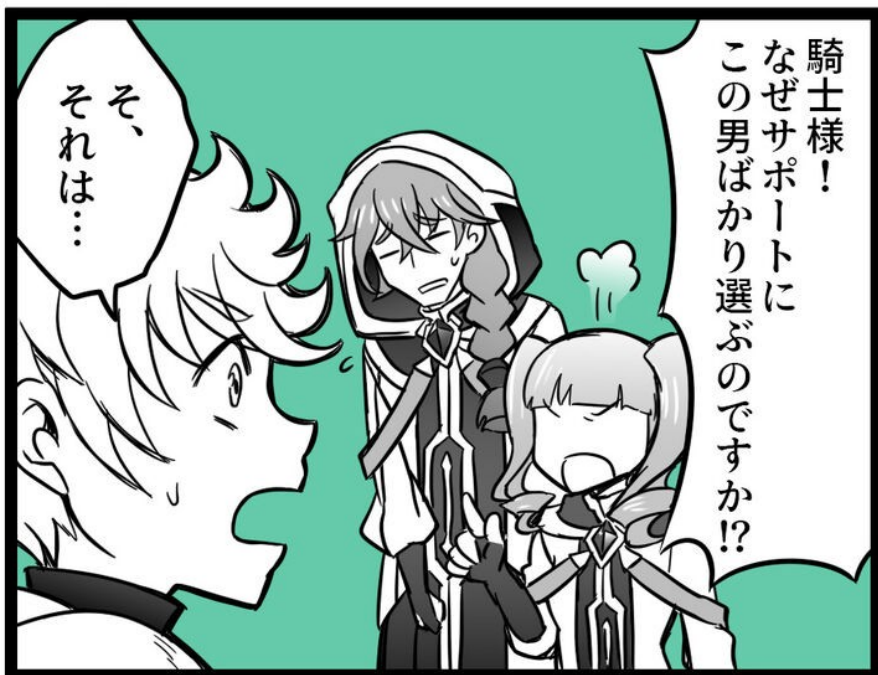
も、もちろん...
喜んで...

彼は別に僕の
能力を買っている
訳ではない

彼は女性が苦手だから
サポートの治癒師に
必ず僕を選ぶ

...ダメかな?

この上ない
幸せだ...♡



男治癒師 (ヒーラー)

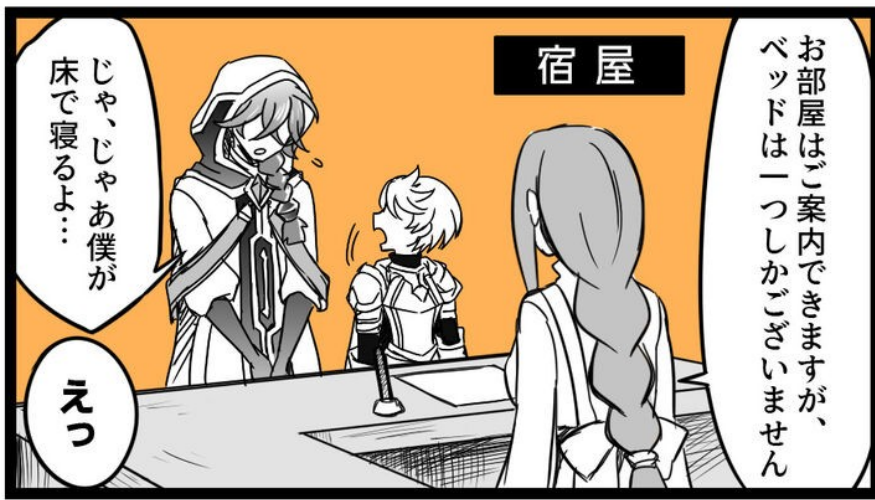
宮廷騎士団所属の治癒師。
治癒部隊唯一の男で、
職場では浮いた存在。



少年騎士 (ナイト)

宮廷騎士団所属の騎士。
女性が苦手なため、
任務の際はサポート治癒師に
男治癒師を必ず選ぶ。





お部屋はご案内できますが、
ベッドは一つしかございません

宿屋

じゃ、じゃあ僕が
床で寝るよ…

えっ



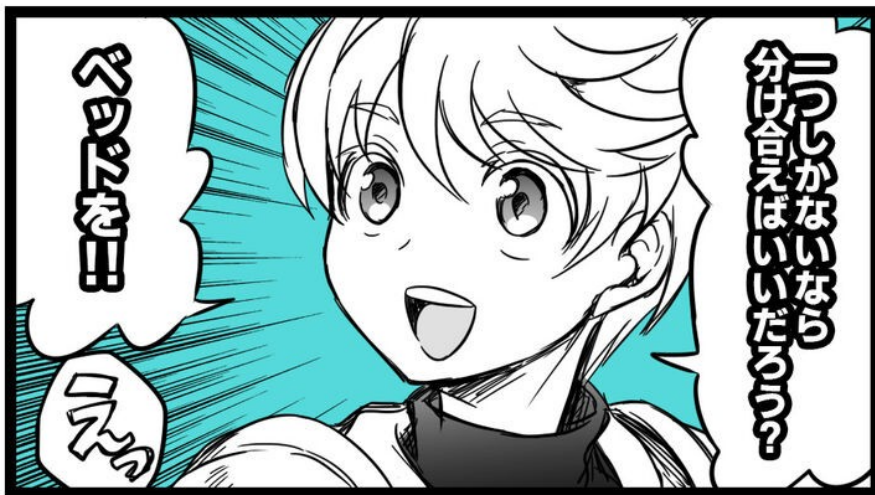
男治癒師 (ヒーラー)

甘い物が好き。
その辺に生えてる花を摘んで
蜜を吸ったりしてる。



ぼ、僕より君の方が
働いてるし…
僕みたいな木偶の坊の事は
気にしないで…クダサイ

またそんな事を言っ
て…
ここ数日ずっと
野宿だったじゃあないか！
しっかり体を休めないか！



一つしかないなら
分け合えばいいだろう？

ベッドを!!

えっ



少年騎士 (ナイト)

何でもよく食べる。
胃が強靱なので
多少腐った物でも美味しく頂く。



じゃあ
おやすみ!

しかも
裸族…

ハイ…

「ごめん…へっぴり腰で…
全然気持ち良くないよね…
ごめん…」

「フフ…僕が小柄だから
力加減してくれてるんだらう？
君が思ってるより頑丈だから
遠慮せずに動いてみて」

「でも…
今日もあんな」
「戦って疲れてるでしょ…」

「だから「その」「慰安」が重要なんじゃないか
これは君の重要な「仕事」だよ
僕の言う通りに満足させくれ♡」



「んあアツ♡
イイよ♡その調子…♡
もっと激しく
してくれないか♡」

相手の反応が良すぎるので
「ド下手クソな自分のために演技してくれているのでは？」
と不安になって集中できない状態





どうしたんだい？
変わったもの食べて

ウツ……

食虫モンスターの
お刺身



なるほど！
精液を
増やしたい
のか！

食虫
モンスターの
お刺身は
精力が
高まるって
聞いたから…



僕も手伝うよ！

精液を増やすには
禁欲するよりも
セックスした方がいらしいね♡

まずは体力を
つけようか





アルくん、
この体勢けっこう
キツイ……

がんばれ♡
たくさん体カつけて、
たくさん命を
注いでくれ♡♡

数か月後



あれは…
強い
モンスター！

アルくん
あぶない！



特訓の成果!!!

男盗女盗と 少年騎士 の蘇生から始まる奇妙な関係

【Special thanks !】
ゲスト：おやつさん

■奥付

【サークル】ダイナミック棺桶

【ペンネーム】ダイナキシン

【発行日】2023年10月27日

【ホームページ】<http://dainamikkukanoke.blog.fc2.com/>

【Pixiv】<https://www.pixiv.net/users/1015975>

■注意事項

※本作品は性的表現を含む成人向け作品です。18歳未満の方の閲覧・購入を固く禁じます。

※本作品の無断転載・複製・再配布・データ改変・二次使用などを固く禁止します。

※本作品はフィクションです。実在の人物・団体名・事件などとは一切関係ありません。